

■ オンデマンド配信紹介

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、今年度は実習やグループワークを内容とする現地参集型研修会の開催を中止し、代わりに YouTube を使用して**オンデマンド配信**をいたします。**全て2022年3月31日までご視聴可能**となっております。実際の視聴後アンケートでは、「YouTube なので気軽に視聴できる」「復習したい部分だけ視聴できる」など、好評なご意見をいただいています。是非、お申込みの上、ご視聴ください。

京都在宅医療塾 オンデマンド配信 「実践編」 ※対象 医師	①心電図・心エコーを使用する前にバイタルサインでここまで診れる ②知っておきたい 在宅での輸液スキル明日からできる皮下点滴！ ③ POCUS 総論 ④よくある POCUS の使い方 ⑤患者さんが CVポートで退院しても大丈夫！～医師が最低限おさえておくポイント～ ⑥在宅 CVポートの管理ポイント～訪問看護認定看護師からのメッセージ～	お申込みはこちらから  詳細・お申込方法につきましては ホームページを ご確認ください 京都 在宅医療 Q 検索
京都在宅医療塾 オンデマンド配信 「排泄支援」 ※対象 医師・多職種	①多職種で取り組む在宅における排泄自立支援のイロハ ②事例から学ぶ在宅での排泄支援 ③そのおむつ待って！快適な排せつを目指して	

今年度のサポートセンター事業を振り返って

今年度の事業を振り返ると、今後に向けて大変勉強になった1年でした。
総合診療力向上講座は全て Zoom を用いて WEB で開催されました。講座内容は今まで通りの定評ある高レベルなもので、その時間、パソコン設定さえすればどこでも聴講でき、特に京都府北部・南部の先生方には大変好評でした。また、大ホールのスクリーンに投影するよりもスライドの画像が鮮明である点も評価されました。
京都在宅医療塾・かかりつけ医認知症対応力向上研修は多職種を対象としていますが、講師の方々には多くの職種に理解しやすい内容にご配慮いただくと共に、京都在宅医療塾ではチャット機能を用いて双方向性に尽力下さいました。また、平原先生は例年通りのグループワークを Zoom を用いて開催されました。グループワークの開催には事務方に相応の準備が必要なることを痛感すると共に、出席者に慣れと特有のエチケットが必要だと感じました。実地臨床での WEBカンファには多忙な職種の参加が見込みやすいこと、画像・動画やデータなど共用して閲覧できることなどメリットも多く、なんとか実地で活用できないかと考えております。
そして、京都在宅医療塾の実技講習に代わるものとして、多数のオンデマンド配信を行いました。WEB での実技講習は、講師の先生と一緒に身振り手振りで実習できない反面、自分がいざその手技等が必要になったとき、ちょっと調べたいと思ったとき、まさしく「オンデマンド」に利用することができます。「オンデマンド」性にできるだけ配慮し、見たその場で使えるよう工夫しました。このオンデマンド配信が現場での臨床のニーズに耐えうるものか、ご聴講の先生方には是非ご意見を賜りたいと思います。

最後に京都在宅医療戦略会議について。WEB 開催で回数も限られたものとなりました。新型コロナウイルス感染症が感染蔓延を繰り返し、会員の皆様の疲労が蓄積する中、参加して良かったと言えるだけの企画を立案できなかったのが最大の反省点です。しかし、当センターは、「在宅医療」「地域包括ケア」を「サポート」する「センター」です。現場での問題・課題、各地区で話されていることが把握できないと「サポート」はできません。また、各地区で取り組まれていることは他地区にとってとても参考になることが多いように思います。

在宅医療や地域包括ケアに関わる様々なご意見や課題、他地区にご紹介できる取り組み等、当センターまでご教示いただければ幸いです。今後も、地域包括ケアの主役である会員の皆様が生き生きとご活躍いただけるよう取り組んで参る所存ですので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

京都府医師会 理事 角水 正道

在宅医療に関係する質問があればお問い合わせください。サポートセンターと保険医療課で連携し回答いたします。

お問い合わせ、ご意見及びご感想は

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階
tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケア サポートセンター news

Vol.42

2022年3月15日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

※当センターホームページにてバックナンバーがご覧いただけます。

Main menu

- ◆ かかりつけ医認知症対応力向上研修(WEB 講習会)開催報告(P.2)
- ◆ 京都在宅医療塾(全5回)開催報告(P.2)
- ◆ 総合診療力向上講座(全4回)開催報告(P.3)
- ◆ Web 講習会受講者に向けた取組みについて(ご案内)(P.3)
- ◆ オンデマンド配信紹介(P.4)
- ◆ 今年度のサポートセンター事業を振り返って(P.4)

府民啓発事業:KBS 京都ラジオ

「きょうの在宅医療・あんしんを支える～住み慣れた家で最期まで～」

見慣れた景色、いつもの匂い…住み慣れた家で最期まで、自分らしく生きるために。
お家で医療を受ける「在宅医療」について府民の皆様に知ってもらうため、KBS 京都ラジオ「さらピン キョウト」(月～木 14時～17時)の1コーナー (15:35頃放送) で全8回シリーズでお届けしています。

【第1回放送】 2022年2月7日(月)

なぜ在宅医療が必要なのか

京都府医師会 副会長 谷口 洋子 先生



【第2回放送】 2022年2月14日(月)

かかりつけ医をもちましょう！

京都府医師会 理事 角水 正道 先生



【第3回放送】 2022年2月21日(月)

かかりつけ医以外でどんな専門家がサポートしてくれるのか？

京都府医師会 理事 小柳津 治樹 先生



【第4回放送】 2022年2月28日(月)

介護サービスって何？

京都府医師会 理事 市田 哲郎 先生



【第5回放送】 2022年3月7日(月)

認知症を抱えておられる方や 高齢でおひとり暮らしの方でも 在宅療養できるの？

京都府医師会 理事 西村 幸秀 先生



【第6回放送】 2022年3月14日(月)

コロナ禍における 在宅医療について

京都府医師会 理事 禹 満 先生



【第7回放送】 2022年3月21日(月)

家族で話会ってほしい 「ACPについて」

京都府医師会 理事 田村 耕一 先生



【第8回放送】 2022年3月28日(月)

安心して在宅医療を受ける ための取組みについて

京都府医師会 副会長 北川 靖 先生



収録した内容は、サポートセンターホームページで4月以降に公開する予定です。
放送を聞き逃した方、もう一度聞きたい方は是非アクセスしてみてください。

令和3年度 研修会開催報告

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、Zoomを使用したWeb講習会を開催しました。

かかりつけ医認知症対応力向上研修（Web講習会）

令和3年度かかりつけ医認知症対応力向上研修（集合研修）ではZoomウェビナーを使用し、前半、後半Partに分けて各4回ずつ（計8回）動画配信を行い、医師215名、多職種7名が参加されました。

前半Partでは「基本知識」「診療における実践」を北山病院 院長の澤田 親男氏にご講演いただき、後半Partでは「かかりつけ医の役割」をはやし神経内科 院長の林 理之氏に「地域・生活における実践」を京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学 精神医学教室 教授 成本 迅氏にご講演いただきました。

受講後アンケートでは、「専門の先生の実臨床における対応が分かり、今後自信を持って、患者と接することができる気がする」「医師としての社会で求められる役割が具体的に理解でき、多職種や家族の方々への対応や支援がよく理解できた」との感想をいただきました。



京都府立医科大学大学院
医学研究科
精神機能病態学
精神医学教室 教授
成本 迅氏



北山病院 院長
澤田 親男氏

はやし神経内科 院長
林 理之氏

京都在宅医療塾（全5回）

医師、多職種を対象とした研修会を全5回開催し、合計618名（延人数）の方にご参加いただきました。第3回ではZoomのブレイクアウトセッション機能を使用してグループワーク形式で開催いたしました。

	テーマ	講師	参加数
第1回	「在宅医療における睡眠障害について～見立て（みたて）と治療～」	京都府医師会 理事 / 医療法人同仁会（社団） 京都九条病院 精神科・心療内科 / 医療法人同仁会（社団） 介護事業部 事業部長 統括医師 / 京都市唐橋地域包括支援センター センター長 西村 幸秀氏	139名
第2回	「今日からできる！ 新型コロナウイルス感染症×在宅医療の実践！」	京都府立医科大学 救急医療学教室 医療法人双樹会 よしき往診クリニック 宮本 雄気氏	194名
第3回	「非がん性呼吸器疾患の在宅緩和ケア～指針発表をうけて～」	東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター長 東京都地域連携型認知症疾患医療センター長 平原 佐斗司氏	42名 （グループワーク）
第4回	「今日からできる！新型コロナウイルス感染症×在宅医療の実践！PartⅡ」	京都府立医科大学 救急医療学教室 医療法人双樹会 よしき往診クリニック 宮本 雄気氏	142名
第5回	「在宅における食支援」	日本歯科大学 大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学 教授 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長 菊谷 武氏	101名

受講者の声～受講後アンケートより抜粋～

第1回	・非常に実践的で、睡眠のメカニズムがよくわかり、薬の作用機序もわかりやすかったです。（医師） ・睡眠障害の利用者さんは沢山おられます。患者さんの見立て、主治医と連携していくポイントを学ぶことができました。（看護師）
第2回	・宮本先生のお話が大変具体的でよかった。また在宅医療の現状（認知症や精神疾患患者の現状）をよく把握しておられることに感銘いたしました。特に在宅コロナ患者の重症度を見極めるための発症日、血液検査、呼吸数、労作時の酸素飽和度低下については自院でも共有します。またステロイドの賛否両論の議論についても整理していただきました。（医師） ・感染が拡大してから、在宅への訪問に非常に神経を使いました。基礎知識を改めて知ることができたこと、確認することや連携についても学べ、今後の活動に十分生かせると考えます。（ケアマネジャー）
第3回	・栄養、吸入器の選択、ポジショニング、呼吸リハビリテーション、モルヒネの使用、口腔ケア、ACPについてなど、広く教えて頂いたことが、大変勉強になりました。（医師） ・非がん呼吸器疾患における在宅緩和支援について、グループワークで医師が考える治療方針を含め緩和への考え方、サポート体制について知ることができ、大変有意義でした。高齢者が複合疾患を抱えながら生活されるにあたり、緩和ケアはますます重要であると考えます。ACPに関しても早期に積極的な検討が必要と再認識しました。（看護師）
第4回	・COVID 感染患者訪問診療の実施報告、問題提起を詳細に明確に報告され、深く満足致しました。（医師） ・京都府内のコロナ感染者の在宅療養支援や、行政の対策等を知ることが出来ました。ケアマネの役割まで整理していただき役に立ちます。（看護師）
第5回	・食のリハビリテーションという勉強の機会はあるが、このようないかに口から物を取り込むか、一から勉強して、最期に向かう時期における食の位置づけにまで思いをはせた勉強の機会は貴重だった。（医師） ・終末期にあたる患者様に対し言語聴覚士として食事内容を考える機会が多くあり、とても参考になった。（言語聴覚士）

総合診療力向上講座（全4回）

医師を対象とした研修会を全4回開催し、合計737名（延人数）の方にご参加いただきました。

リピーターの参加者も多く、また遠方の参加者からはZoomでの開催に対して好評なご意見をたくさんいただく事ができました。

	テーマ	講師	参加数
第1回	「外来診療は“Sherlock Holmes”」	洛和会音羽病院 総合内科・リウマチ部門 部長 谷口 洋貴氏	188名
第2回	「COVID-19の診療について」	京都府保健環境研究所 所長 藤田 直久氏	183名
第3回	「前半：リンパ節腫脹へのアプローチ 後半：COVID に負けない病診連携～看取りの連携のご提案～」	洛和会丸太町病院 救急・総合診療科 部長 上田 剛士氏	183名
第4回	「病院総合医からみた残念な処方～説明はされてますか？～」	市立福知山市民病院 研究研修センター長 兼 総合内科医長 川島 篤志氏	183名

受講者の声～受講後アンケートより抜粋～

第1回	・身近な症例から、臨床の心構えを感じさせる興味深いお話が聞けました。 ・日常診療に役立つ意外と忘れがちな情報を提供してもらい、大変参考になりました。 このような日常診療・訪問診療の盲点についての講演を今後もお願いしたいと思います。
第2回	・エビデンスに基づいた説明で、大変勉強になった。明日からの当院の予防対策、患者への説明に有用であり満足。 ・COVID-19について、短時間で基礎から臨床、予防、疫学・公衆衛生まで、最新のデータをもとにお話しいただいた。
第3回	・リンパ節腫脹について、系統立てて学ぶ機会が恥ずかしながら無かったので、勉強になりました。CPA 症例への対応についても、思いもつかない発想で、「できない」ではなく「どうすればできるか」を体现されていて素晴らしいと思います。 ・日々の臨床に直結する内容であった（リンパ節触診・最期に際しての病診連携アイデア）。
第4回	・自身の普段の診療で抜け落ちていたところをたくさん教えて頂きました。「処方の前に原因検索をすること」「処方の意味を立ち止まって、考えてみる」「心不全が診られるようになる」「せん妄にならないように外来から処方に注意する」「ベンゾジアゼピン系睡眠薬を変更するように患者さんに説明する努力」「なぜ診療ブラッシュアップコース」など、日々の診療で出会う課題について教えて頂き、大変勉強になりました。 ・プライマリケア医に必要な知識を広く、深く教えていただくことができました。

皆様からご意見をいただき、色々な試みを実施することができました事、心より御礼申し上げます。今後とも研修会後アンケートや当センターのホームページのメール等をご活用いただき、忌憚のないご意見をお聞かせください。

Web講習会受講者に向けた取組みについて（ご案内）

当センターでは令和2年度より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、Zoom等を用いたWeb講習会を開催してまいりました。

Web講習会では、参加される方のIT知識やWeb環境によって聴講の満足度が異なることから、Zoomトライアルや個別対応で、ITに馴染みのない方に接続方法や操作方法をお伝えしてまいりました。その結果、以降のWeb研修会ではスムーズに接続していただけました。

よくあったトラブルとしては、「接続ができない」というものが代表的でしたが、こちらはZoomの専用アプリをインストールする事でほとんどの方が接続可能となりました。「**音声**が聞こえない、聞こえにくい」という問い合わせも多く、音声聞こえにくい場合はイヤホンを使用する事でクリアに聞こえ、また、音声聞こえない場合はZoomの音声設定を変更するなどで解決する事ができました。このように簡単なボタン操作で解決する事が多いのですが、ご自身で調べて対応するとなるとお時間もかかりますので、お困りの際は是非、本センターへお問い合わせください。

また、個別対応は現在でも承っておりますので、Web研修会参加に不安がある先生方は是非お問い合わせください。

Zoom接続対応

予約制となりますので、事前にお電話でお申し込みください。
（株）ビードリーム（075-256-2405）【受付時間 9:00～17:00】※土日祝除く